



ゆい しっかり者。頼りない兄のフォロー役(?)



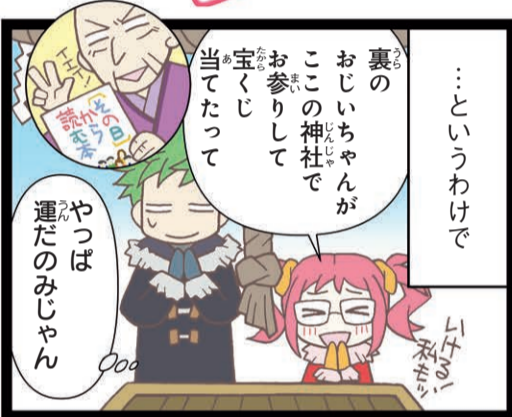
ほくと 妹思いなゆいの兄。熱血漢でスポーツ万能



裏のおじいちゃん ゆいと仲良しの裏に住んでいるおじいちゃん

作・ガズキ伊緒


あらかわ少女☆ゆいちゃん




Topics

「電子ちょうちん製作体験」が行われました

12月19日、「電子ちょうちん製作体験」が、都立荒川工業高等学校の協力で、今回初めて行われました。午前と午後の2回に分かれ、小学3年生から6年生までの計76名の児童が参加しました。はじめにちょうちんに貼る半紙にイラストや文字などを描き、次に骨組みを組み立て、その周りに自分たちで描いた半紙を貼り付けます。最後に、ちょうちんの明かりの部分の電子回路を組み立てて完成です。このちょうちんは、暗くなると自動で明かりが点灯するのが特徴で、高校生の助けも借りて、全員の電子ちょうちんに明かりがともりました。



電子ちょうちん製作の様子



出来上がった電子ちょうちん

あらかわ 今昔ものがたり

【あらかわの歴史と伝説】

【問合せ】荒川ふるさと文化館 ☎(3807)9234

執筆 野尻さん

その135 頼朝さん隅田川を渡る

～歴史の舞台・橋場の渡し～

南千住のスーパー堤防は見晴らしが良くてお散歩するのにぴったり。下流にはスカイツリーも見え、空気が澄んだこの季節には青空がさわたり、素敵な景色が楽しめるよ。

名所としての渡し 隅田川沿いの風景は、四季を通して美しく江戸の名所として有名だった。特に白鬚橋(南千住三丁目)付近にあった渡しは、浮世絵にもたくさん描かれているよ。この渡しは、古くは「隅田の渡し」、

▲「江戸名所隅田川橋場の渡し 水神の森」(満光寺蔵) と呼ばれていた。実はね、ここは歴史の舞台としても知られているんだ。例えば、和歌の名人在原業平さんがモデルだという平安時代の『伊勢物語』の主人公。渡し船に乗って「名にし負はば いざ言問はむ 都鳥 我が思ふ人は ありやなしや」という和歌を詠んだんだ。都鳥は、くちばしと足が赤い都鳥の鳥・ユリカモメのことだ。平安時代から隅田川のシンボルとして知られていたんだね。

頼朝さん隅田川を渡る ところで、みんなは源頼朝さんを知っているかい? そうそう、鎌倉幕府を開いた武士だ。頼朝さん、若い頃に隅田川を渡ったことがあるんだ。石橋山の合戦に敗れ安房国(今の千葉県)に逃げていた頼朝さん。関東最大級の兵力を持つという千葉氏らを味方に付け、ここで隅田川を渡って武蔵国(今の東京都など)に入り、後に幕府を開く鎌倉入りを果たしたんだよ。

「橋場」の由来 その渡り方がとてもユニークだった。大勢の兵士が隅田川を渡るには、小さな渡し船では到底足りるはずがない。そこで下の絵みたいにたくさんの船を並べ、板を置いて浮橋をかけ、一気に渡ったんだってさ(『義経記』など)。これが「橋場」の地名の由来だともいわれているよ。大河ドラマでも鎌倉殿(頼朝さん)が取り上げられているね。今度、歴史の舞台になった橋場の渡し垣をお散歩してみてね。

▶「江戸名所古跡伝 橋場地名の起源」(石浜神社蔵)